

わ く わ く

2月号

本 だ な

1 2 3 年



E 『ぬかどこすけ!』

えほん

かとうまふみ/作 あかね書房

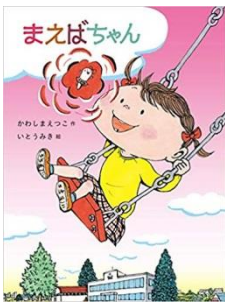
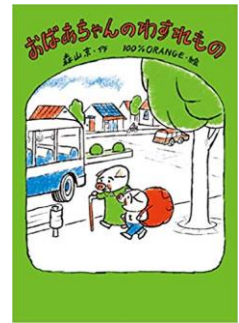
おいらは、ぬかどこすけ!ばあちゃんは、おいらの中にぬかどこねえさんと、やさいくずをいれて、まいにちまぜる。ぬかどこねえさんの中には、たくさんのきんがすんでいて、やさいをとびきりおいしいぬかづけにかえるんだって。

K913 『おばあちゃんのわすれもの』

ものがたり

森山京/作 100%ORANGE/絵 のら書店

トントは、おばあちゃんとバスにのってまちへ出かけました。クリニックやめがねやへいき、ようひんでんでもおかいもの。さいごに美味しいパフェを食べ、かえろうとすると、たいへん、おばあちゃんのつえがありません。



K913 『まえばちゃん』

ものがたり

かわしまえつこ/作 いたうみき/絵 童心社

まえばちゃんは、ななこの口にはじめてはえたはです。友だちとけんかしたななこをはげまし、にがてなかけっこのときにおうえんしてくれる、たのもしいいみかたです。

ところが、ゆうごはんをたべたとたん、ぬけてしまっていました。

K485 『ここにも!そこにも!ダニ』

ちしきのほん

皆越ようせい/写真・文 ポプラ社

日本には、人のちをすうマダニ、水の中でくらすミズダニなど、2000しゆるいほどのダニがいて、大きさ、形、色もさまざまです。

ツルギイレコダニは、森のおちばをたべます。ふんは土のえいようになり、土からしょくぶつがそだち、いきもののいのちをささえます。



としょかんのまどぐちには、くみだてると本になる「わくわく本だな」もあるよ。

ホームページもみてね!〈編集・発行〉富山市立図書館 富山市西町5番1号 電話 076-461-3200

わ く わ く

2月号



本 だ な

4 5 6 年



物語

K913 『エレベーターのふしぎなボタン』

加藤直子／作 杉田比呂美／絵 ポプラ社

マンションのエレベーターにのったサキは、見たことがないみどり色のボタンを見つけて、おしてみました。

着いたところは、森です。ふしぎに思いながら歩いていくと、おばあさんが道にちらばったクリをひろい集めていました。サキが思わず手伝うと、おばあさんは、「ねがいごとをひとつかなえてあげる」と言います。

K913 『ぼくとニケ』

片川優子／著 講談社

玄太の家では、ニケという猫を飼っています。もとは幼なじみの仁菜が拾った子猫でした。お母さんが猫をきらっているのので、玄太の家に連れてきたのです。

仁菜はニケの様子を見ようとひんぱんに玄太の家に入ります。ところが、お母さんに見つかり、怒られてしまいました。どうしてそんなに猫がきらいなのでしょう。

物語



ちしきの本

K410 『アリになった数学者』

森田真生／文 脇阪克二／絵 福音館書店

ある日とつぜん、人間からアリになった数学者。数学者は、アリには数がわからないだろうと思っていました。

しかしアリと語り合ううちに、アリの世界には人間が知っている数とはまったくちがう種類の数が存在すると気がつきます。そして、他の動物や、草や木々の数学についても、もっと知りたいと思います。

図書館のまどぐちには、くみたとると本になる「わくわく本だな」もあるよ。

ホームページもみてね！〈編集・発行〉富山市立図書館 富山市西町5番1号 電話 076-461-3200